



平成23年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月14日

上場会社名 株式会社ジーエヌアイグループ 上場取引所 東
 コード番号 2160 URL <http://www.gnipharma.com/>
 代表者 (役職名)取締役代表執行役社長 兼CEO (氏名)イン・ルオ
 問合せ先責任者 (役職名)経営管理部 (氏名)田中 忍 TEL (03)5326-3097
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年12月期第3四半期の連結業績(平成23年1月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
23年12月期第3四半期	53 △66.6	△321 —	△320 —	△306 —
22年12月期第3四半期	159 —	△255 —	△251 —	△253 —
	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益		
	円 銭	円 銭		
23年12月期第3四半期	△3 41	—		
22年12月期第3四半期	△2 84	—		

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年12月期第3四半期	1,262	824	38.0	5 32
22年12月期	961	915	82.5	8 83

(参考) 自己資本 23年12月期第3四半期 480 22年12月期 793

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年12月期	— —	— —	— —	0 00	0 00
23年12月期	— —	— —	— —	— —	— —
23年12月期(予想)				0 00	0 00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年12月期の連結業績予想(平成23年1月1日～平成23年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
通期	113 41.7	△365 —	△365 —	△366 —	△4 10

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P. 4「その他」をご覧ください。）

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 有

新規 1社（北京コンチネント薬業有限公司）

（注） 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

（注） 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

- (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 : 無

- ② ①以外の変更 : 有

（注） 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

- (4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年12月期 3Q	90,282,831株	22年12月期	89,782,831株
23年12月期 3Q	2,900株	22年12月期	2,900株
23年12月期 3Q	90,030,847株	22年12月期3Q	89,384,958株

- ② 期末自己株式数

- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・ この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・ 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
【第3四半期連結累計期間】	7
【第3四半期連結会計期間】	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）において当社グループは前連結会計年度から引き続いて、医薬品開発販売を行う企業として成長を遂げるため、現在保有する創薬候補物の市場化を目指し、治験を着実に進めていくことを重要な経営課題としております。

■ 特発性肺線維症・放射線性肺炎治療薬 F647

中国において、商品化に最も近い創薬候補物であるF647（一般名：ピルフェニドン）については、①特発性肺線維症（IPF）治療薬、並びに②放射線性肺炎（RP）治療薬という2つの適応症がありますが、そのうち特発性肺線維症（IPF）治療薬において9月に中国では初となる中国国家食品薬品监督管理局（SFDA）の新薬承認を取得いたしました。さらに製造販売を行う為には、新薬承認の他、製造販売許可の取得も必要となるため医薬品製造品質管理基準であるGMP認定を得た製造設備を自社内で準備する必要がありますが、8月26日に中国法人北京コンチネント薬業有限公司（BC社）を子会社化し、製造販売許可申請の準備を行っております。一方、放射線性肺線維症治療薬（RP）も良好な臨床試験の結果を受け、さらなる有効性と安全性を確かめるために第3相臨床試験を計画しております。

■ 肝線維症治療薬 F351

これらに続く創薬候補物のF351は、イーピーエス株式会社（東証一部上場企業）との合弁会社であるGNI-EPS Pharmaceuticals, Incにて中国における第2相臨床試験の準備を進めております。また、当社は中国、オーストラリア、カナダ、米国並びに日本の5カ国でF351の特許権を取得しております。

■ 急性肝不全・慢性肝不全急性化治療薬 F573（旧 F1013）

肝不全治療薬 F573は、F647、F351に続く3つ目の新薬候補物であります。F573は、強力な肝細胞死阻害剤として米国企業Epicept社が開発したジペプチドミミックを基に、過去3年に亘り、体系的に前臨床試験を行って参りました。その結果、様々な肝不全動物モデルにおいて、F573が強力な細胞死の阻害並びに生存率改善を示した事を受け、7月7日に上海食品薬品监督管理局（FDA）に対し、治験許可（IND）申請書を提出いたしました。

上記の結果、当第3四半期連結会計期間の売上高は、前年同四半期より104,896千円減少し、13,300千円、営業損失は、前年同四半期より86,785千円増加し93,694千円、経常損失は、前年同四半期より83,613千円増加し89,049千円となりました。四半期純損失は、前年同四半期より81,777千円増加し、87,272千円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて318,081千円増加し、1,262,662千円となりました。負債は、前連結会計年度末に比べて392,695千円増加し、438,618千円となりました。純資産は、前連結会計年度末に比べて91,852千円減少し、824,044千円となりました。純資産の増減は、主に当第3四半期連結累計期間において306,835千円の四半期純損失を計上したことによる減少によります。

当第3四半期連結会計期間において、営業活動により増加した資金は、前年同四半期より37,868千円増加し、33,490千円となりました。主要な減少項目は税金等調整前四半期純損失88,739千円であり、主要な増加項目は、のれん償却額20,158千円、株式報酬費用の6,207千円であります。投資活動による資金の減少は、前年同四半期より38,736千円増加し、39,173千円となりました。減少項目は子会社株式の取得による支出37,519千円であります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前第3四半期連結会計期間末に比べ、70,102千円増加し531,227千円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年12月期の連結業績予想につきましては、平成23年2月15日に公表しました連結業績予想に変更はありません。なお、本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が本資料の発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

当社は、平成23年8月26日付で北京コンチネント薬業有限公司の出資持分比率を51%にし、子会社化いたしました。この結果、当第3四半期連結会計期間末において、当社の関係会社は連結子会社3社となりました。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

①当第3四半期連結累計期間

(四半期連結貸借対照表関係)

前第3四半期連結累計期間において、有形固定資産の「建物附属設備」として表示していたものは、当四半期より子会社が増し建物が増加したため、当第3四半期連結累計期間より「建物及び構築物」として区分表示しております。なお、前四半期連結累計期間の「建物附属設備」は895百万円であります。

(四半期連結損益計算書関係)

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月16日)に基づく財務諸表規則等の一部を改正する内閣府令(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第3四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純損失(△)」の科目を表示しております。

②当第3四半期連結会計期間

(四半期連結貸借対照表関係)

前第3四半期連結会計期間において、投資その他の資産の「その他」に含めていた「敷金及び保証金」は重要性が増したため、当第3四半期連結会計期間では区分掲記することとしております。なお、前第3四半期連結会計期間の投資その他の資産の「その他」に含まれる「敷金及び保証金」は、1,098千円であります。

前第3四半期連結会計期間において、有形固定資産の「建物附属設備」として表示していたものは、当四半期より子会社が増し建物が増加したため、当第3四半期連結会計期間より「建物及び構築物」として区分表示しております。なお、前四半期連結累計期間の「建物附属設備」は895百万円あります。

(四半期連結損益計算書関係)

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月16日)に基づく財務諸表規則等の一部を改正する内閣府令(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第3四半期連結会計期間では、「少数株主損益調整前四半期純損失(△)」の科目を表示しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	531,227	554,894
受取手形及び売掛金	※1 32,167	132,149
たな卸資産	※2 56,138	※2 34,133
その他	29,914	47,175
貸倒引当金	△5,987	△1,077
流動資産合計	643,460	767,276
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	※4 92,508	895
機械及び装置(純額)	40,098	33,628
車両運搬具(純額)	1,319	—
工具、器具及び備品(純額)	7,176	7,707
建設仮勘定	5,385	—
有形固定資産合計	※3 146,488	※3 42,231
無形固定資産		
のれん	173,895	141,106
ソフトウェア	1,275	627
借地権	※4 279,193	—
その他	13,336	9,179
無形固定資産合計	467,701	150,913
投資その他の資産		
長期前払費用	129	—
敷金及び保証金	4,882	—
その他	—	1,398
投資その他の資産合計	5,011	1,398
固定資産合計	619,201	194,543
資産合計	1,262,662	961,819
負債の部		
流動負債		
買掛金	42,555	12,240
短期借入金	※4 71,968	—
1年内返済予定の長期借入金	※4 4,167	—
未払金	25,407	10,274
未払費用	8,309	5,502
未払法人税等	28,519	3,081
賞与引当金	5,397	—
返品調整引当金	896	—
その他	25,510	14,823

(単位: 千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年12月31日)
流動負債合計	212,731	45,922
固定負債		
長期借入金	※4 225,886	—
固定負債合計	225,886	—
負債合計	438,618	45,922
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,081,107	3,079,924
資本剰余金	3,041,107	3,039,924
利益剰余金	△5,591,480	△5,284,645
自己株式	△126	△126
株主資本合計	530,607	835,076
評価・換算差額等		
為替換算調整勘定	△50,377	△42,059
評価・換算差額等合計	△50,377	△42,059
新株予約権	166,422	122,879
少数株主持分	177,391	—
純資産合計	824,044	915,896
負債純資産合計	1,262,662	961,819

(2) 四半期連結損益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	159,558	53,332
売上原価	47,639	37,543
売上総利益	111,919	15,788
販売費及び一般管理費	367,327	337,461
営業損失(△)	△255,408	△321,672
営業外収益		
受取利息	927	336
為替差益	2,916	—
補助金収入	2,656	—
貸貸収入	—	931
受取手数料	—	317
その他	225	—
営業外収益合計	6,725	1,585
営業外費用		
為替差損	—	628
株式交付費	2,895	—
その他	48	14
営業外費用合計	2,944	643
経常損失(△)	△251,627	△320,730
特別利益		
貸倒引当金戻入額	991	—
新株予約権戻入益	52	—
前期損益修正益	—	5,182
特別利益合計	1,043	5,182
特別損失		
前期損益修正損	—	1,202
減損損失	2,117	—
特別損失合計	2,117	1,202
税金等調整前四半期純損失(△)	△252,700	△316,750
法人税、住民税及び事業税	907	907
法人税等合計	907	907
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△317,658
少数株主損失(△)	—	△10,822
四半期純損失(△)	△253,608	△306,835

【第3四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	118,197	13,300
売上原価	11,299	11,822
売上総利益	106,897	1,478
販売費及び一般管理費	※1 113,807	※1 95,172
営業損失(△)	△6,909	△93,694
営業外収益		
受取利息	313	134
為替差益	1,122	3,578
賃貸収入	—	931
その他	37	—
営業外収益合計	1,473	4,644
経常損失(△)	△5,436	△89,049
特別利益		
貸倒引当金戻入額	243	121
前期損益修正益	—	301
特別利益合計	243	422
特別損失		
前期損益修正損	—	112
特別損失合計	—	112
税金等調整前四半期純損失(△)	△5,192	△88,739
法人税、住民税及び事業税	302	302
法人税等合計	302	302
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△89,042
少数株主損失(△)	—	△1,769
四半期純損失(△)	△5,495	△87,272

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失 (△)	△252,700	△316,750
減価償却費	16,718	9,344
のれん償却額	79,840	60,474
賞与引当金の増減額 (△は減少)	4,731	992
株式報酬費用	64,269	43,602
受取利息	△927	△336
為替差損益 (△は益)	1,603	657
減損損失	2,117	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	—	5,090
株式交付費	2,895	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△92,589	106,868
たな卸資産の増減額 (△は増加)	310	△1,034
仕入債務の増減額 (△は減少)	△3,021	858
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	5,615	21,498
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△9,740	△4,331
その他	△2,210	△5,905
小計	△183,086	△78,971
利息の受取額	937	304
法人税等の還付額	15	—
法人税等の支払額	△395	△234
営業活動によるキャッシュ・フロー	△182,528	△78,901
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,497	△2,656
有形固定資産の売却による収入	—	271
無形固定資産の取得による支出	—	△560
子会社株式の取得による支出	—	△37,519
その他	△300	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,797	△40,465
財務活動によるキャッシュ・フロー		
新株予約権の発行による収入	—	45
少数株主からの払込みによる収入	—	100,000
株式の発行による収入	226,304	2,366
自己株式の取得による支出	△44	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	226,260	102,411
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6,992	△6,712
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	34,942	△23,667
現金及び現金同等物の期首残高	426,182	554,894
現金及び現金同等物の四半期末残高	461,124	531,227

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

前3四半期連結会計期間(自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日)

当社及び連結子会社は、創薬事業会社として、同一セグメントに属する事業を行っており、当該事業以外に事業の種類がないため該当事項はありません。

前第3四半期連結累計期間(自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日)

当社及び連結子会社は、創薬事業会社として、同一セグメントに属する事業を行っており、当該事業以外に事業の種類がないため該当事項はありません。

【所在地別セグメント情報】

前3四半期連結会計期間(自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日)

	日本 (千円)	中国 (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する 売上高	105,514	12,683	118,197	—	118,197
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,773	5,014	6,787	(6,787)	—
計	107,288	17,697	124,985	(6,787)	118,197
営業利益または 営業損失(△)	48,978	△55,688	△6,709	(199)	△6,909

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域
中国

前第3四半期連結累計期間(自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日)

	日本 (千円)	中国 (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する 売上高	110,447	49,110	159,558	—	159,558
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	7,368	9,207	16,576	(16,576)	—
計	117,816	58,318	176,135	(16,576)	159,558
営業損失(△)	△70,409	△185,768	△256,178	769	△255,408

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域
中国

【海外売上高】

前第3四半期連結会計期間(自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日)

	中国	東南アジア	米国	欧州	計
I 海外売上高(千円)	5,791	3	30	6,860	12,684
II 連結売上高(千円)	—	—	—	—	118,197
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	4.9	0.0	0.0	5.8	10.7

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 中国

(2) 東南アジア・・・シンガポール

(3) 米国

(4) 欧州・・・オランダ、スイスなど

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

前第3四半期連結累計期間(自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日)

	中国	東南アジア	米国	欧州	その他	計
I 海外売上高(千円)	19,341	7,742	1,752	20,185	89	49,110
II 連結売上高(千円)	—	—	—	—	—	159,558
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	12.1	4.8	1.1	12.6	0.0	30.8

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 中国

(2) 東南アジア・・・シンガポール

(3) 米国

(4) 欧州・・・オランダ、スイスなど

(5) その他・・・イスラエルなど

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち、分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、創薬事業会社の単一事業であり、国内においては当社が、海外においては中国を Shanghai Genomics, Inc. および GNI-EPS Pharmaceuticals, Inc. がそれぞれ担当しております。したがって、当社グループは、研究開発・販売体制を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、「日本」と「中国」の2つを報告セグメントとしております。各報告セグメントでは、創薬事業、受託研究などを行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自平成23年1月1日至平成23年9月30日)

(単位:千円)

	日本	中国	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益計 算書上計上額 (注) 2
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	14,781	38,551	53,332	—	53,332
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,073	12,408	17,481	(17,481)	—
計	19,854	50,959	70,814	(17,481)	53,332
セグメント損失(△)	△142,156	△180,531	△322,687	1,015	△321,672

(注) 1 セグメント損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

第3四半期連結会計期間(自平成23年7月1日至平成23年9月30日)

(単位:千円)

	日本	中国	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益計 算書上計上額 (注) 2
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	4,339	8,961	13,300	—	13,300
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,649	3,567	5,217	(5,217)	—
計	5,989	12,529	18,518	(5,217)	13,300
セグメント損失(△)	△39,183	△55,163	△94,346	651	△93,694

(注) 1 セグメント損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産についての重要な減損損失の認識、又はのれんの金額に重要な影響を及ぼす事象はありません。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

平成15年6月19日に発行した新株予約権のうち、未行使新株予約権の全数(500個、500,000株)が当第2四半期連結累計期間において行使され、資本金及び資本準備金がそれぞれ1,183千円増加いたしました。この結果、当第3四半期連結会計期間末において、資本金が3,081,107千円、資本準備金が3,041,107千円となっております。